仙台奥羽ロータリークラブ

2025-2026（岩渕年度）

活動計画書

（2024 年７月１日より）

目次

１　クラブ資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
２　仙台奥羽ロータリークラブ組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
３　仙台奥羽ロータリークラブ役員・理事・委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・5
４　会長方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
５　幹事方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
６　-1 一般会計予算（2025 年７月～2026 年６月)・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　　-2 特別会計予算（2025 年７月～2026 年６月)・・・・・・・・・・・・・・・・10
７　３か年戦略計画（2025～2028 年）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
８　-1 URUSHI PROJECT・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　　-2 スサノオ基金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
９　各委員会事業計画・予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　　１）　会員増強委員会
　　２）　ロータリー財団委員会
　　３）　クラブ管理運営委員会
　　４）　公共イメージ委員会
　　５）　奉仕プロジェクト委員会
10　会員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　　１）　チャーター会員
　　２）　職業分類
　　３）　会員の移動
　　４）　賛助会員
11　仙台奥羽ロータリークラブ諸細則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
12　仙台奥羽ロータリークラブ法人会員細則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

補遺：仙台奥羽ロータリークラブ定款は標準定款を採用しています。

１　クラブ資料

１）　創立　2021 年７月１日
２）　例会場　医療法人総志会　モークシャタウンホール
３）　例会日時　毎週火曜日　午後７時より（第５週火曜日を除く）
４）　使用言語　日本語または英語
５）　ホームページ URL　http://so-rc.jp
６）　メールアドレス　sorc@munakata-cl.jp
７）　事務局
〒989-3123 仙台市青葉区下愛子字観音堂 1-1　医療法人総志会内
TEL　022-399-6876
FAX　022-399-6877
事務局員　宗像恵
８）　会員（2025 年７月１日現在）
正会員　24 名
予備会員　０名
補欠会員　７名
賛助会員　個人 31 名・団体８組
９）褒賞
2022 年
国際ロータリー第 2520 地区　ガバナー賞受賞
・RLI 参加賞
・「My ROTARY」アカウント登録を推進したクラブ
国際ロータリー第 2520 地区　ガバナー特別賞受賞
「新型コロナウイルスワクチン接種促進プロジェクト」

2023 年
国際ロータリー第 2520 地区　ガバナー特別賞受賞
「URUSHI PROJECT」
ワールドポリオデイフォトコンテスト 2023　TRF 委員長賞受賞
「木！（Key）　of End Polio」

2024 年
国際ロータリー第 2520 地区　ガバナー特別賞受賞
「大人大学」

2025 年

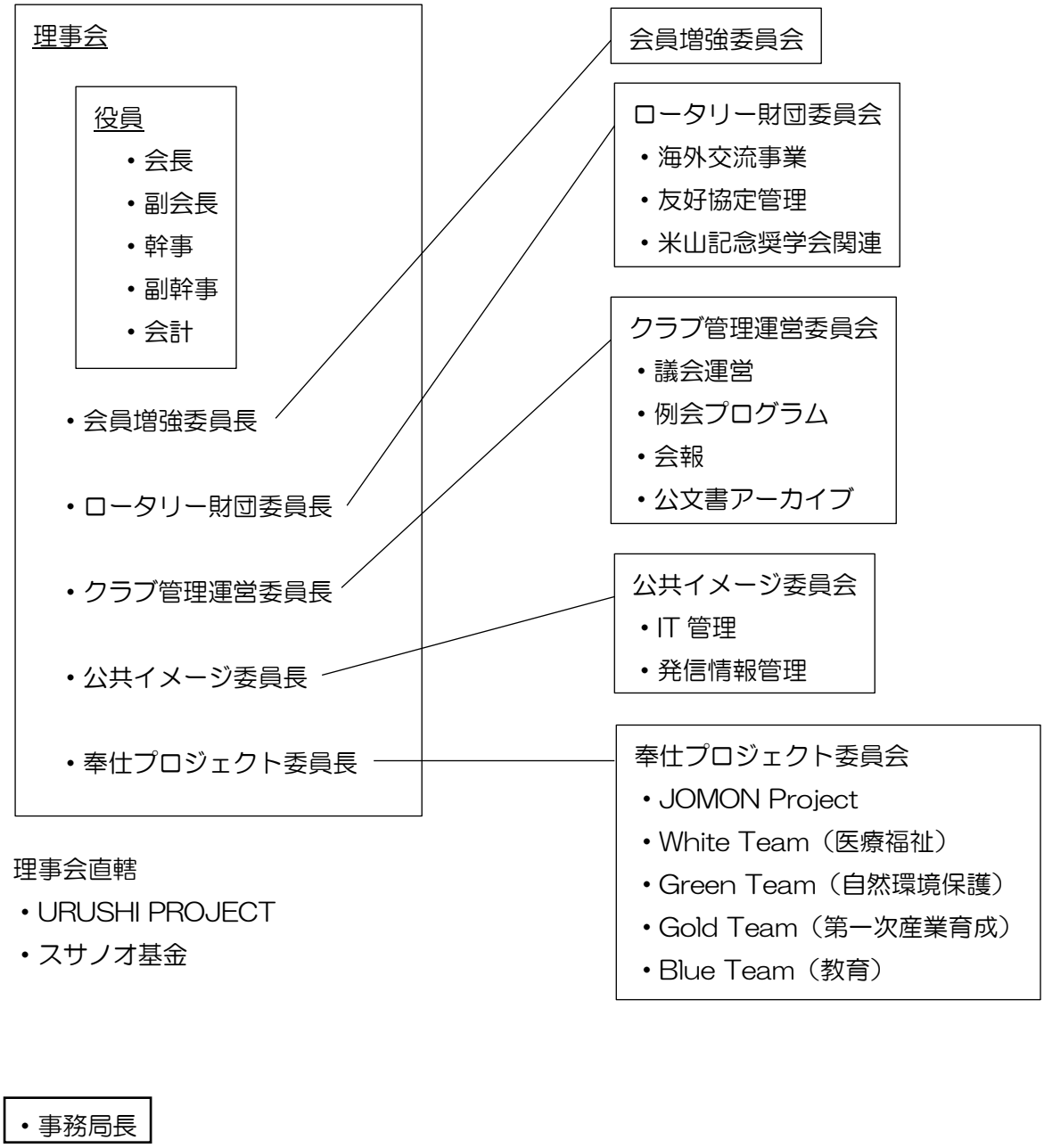
国際ロータリー第 2520 地区　ガバナー特別賞受賞

「HEAMOP」

ワールドポリオデイフォトコンテスト 2024　入賞

「縄文の祈り」

2　仙台奥羽ロータリークラブ組織図（2024 年 4 月 23 日承認）



理事会直轄
・URUSHI PROJECT
・スサノオ基金

・事務局長

３　仙台奥羽ロータリークラブ役員・理事・委員名簿

役員

会長　岩渕雄司
副会長　上原研一
幹事　宮伸和
会長エレクト　高橋広
筆頭副幹事　高橋広
副幹事　鈴木政憲・宗像靖彦・田仲智子・佐藤良幸
会計　堀裕之

理事

岩渕雄司・上原研一・宮伸和・高橋広・鈴木政憲・宗像靖彦・田仲智子・佐藤良幸・堀裕之

委員会

・会員増強委員会
　委員長　高橋広　　副委員長　久世尚志
・ロータリー財団委員会
　委員長　鈴木政憲　　副委員長　志村雄彦
・クラブ管理運営委員会
　委員長　宗像靖彦　　副委員長　奥村滋子
・公共イメージ委員会
　委員長　田仲智子　　副委員長　林宙紀
・奉仕プロジェクト委員会
　委員長　佐藤良幸　　副委員長　鈴木壘
　　JOMON Project
　　White Team　佐藤博昭（リーダー）・香野朋広・黒澤大輔
　　Green Team　鈴木利彦（リーダー）・熊谷修・櫻本和夫
　　Gold Team　宗像一子（リーダー）・菅原宣和
　　Blue Team　櫻田敦彦（リーダー）・田村祐子・田仲智子（兼任）

４　会長方針

2025-2026　仙台奥羽ロータリークラブ会長　岩渕雄司

【キーメッセージ】**「対話とつながりで広がるロータリー」**

このたび、仙台奥羽ロータリークラブ 2025-26 年度の会長を拝命いたしました。まだ若いクラブではありますが、その分しがらみのない自由な発想と行動力を強みとし、今期も仲間の皆さまと前向きに活動を展開してまいりたいと思っております。

当クラブでは、現地とオンラインを併用したハイブリッド形式で例会を行っております。これは時代に即した合理的なスタイルである一方で、対面での雑談や偶発的な交流が少ないことで、会員間のつながりやクラブへの関与の度合いに差が生じてきているのも事実です。

そこで本年度は、「対話」と「つながり」をキーワードに、会員が“参加してみよう”と思えるような空気づくりを意識したクラブ運営を進めてまいります。例会では、全員に発言のチャンスがある「今日の一言」などの取り組みを継続し、声を出しやすい雰囲気づくりを重視していきます。どんな話題にもその人らしさがあり、ふとした一言が新たな対話や共感を生むきっかけになると信じています。

また、「学び」と「つながり」の視点から、内外を問わず卓話の頻度を増やすことにも積極的に取り組んでまいります。外部からの講師だけでなく、会員同士や他クラブとの相互卓話など、多様な声が行き交う場をつくることで、例会が知的刺激と人間関係の深化につながる時間になることを目指します。卓話を「聴く」だけでなく、その後の会話や活動のヒントとなる「きっかけ」として活用していきたいと考えています。

さらに、仙台奥羽ロータリークラブが行っている奉仕プロジェクトについては、**全会員が年度内に最低 1 回は参加すること**を目標とします。奉仕活動は、ロータリアンとしての本質であり、言葉では得られない実感や絆を育む貴重な機会です。都合をつけて、少しでも「やってみよう」「参加してみよう」と思っていただけるよう、準備段階から丁寧な情報共有と協力体制を整えてまいります。

この一年を通じて、仙台奥羽ロータリークラブの柔軟で自由な雰囲気を大切にしながら、会員一人ひとりが「関わってよかった」と実感できる瞬間を積み重ねていきます。そして、その先にある信頼関係や仲間意識を土台として、次の世代にも誇れるクラブへと育てていきたいと考えています。

皆さまのお力添えをいただきながら、丁寧に、そして力強く歩みを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【会長プロフィール】

・経歴及び職歴

2004 年　宮城県立泉館山高校　卒業

2008 年　東北学院大学経済学部経営学科　卒業

2008 年　株式会社ライフアップ　入社

2017 年　株式会社いせかん（株式会社ライフアップで買収）代表取締役就任

・ロータリー歴

2021 年７月　仙台奥羽ロータリークラブ入会　公共イメージ委員会副委員長

2022 年７月　奉仕プロジェクト委員会　Gold Team

2023 年７月　会員増強委員会委員長・副幹事・会長ノミニー

2024 年７月　幹事・会長エレクト・IM 実行委員長・行動計画推進リーダー

５　幹事方針

2025-2026　仙台奥羽ロータリークラブ幹事　宮伸和

　仙台奥羽ロータリークラブに入会してまだ日が浅いですが、ロータリーの一員としてどのような活動ができるのかを常に考えております。
　まずは幹事として会長の補佐を務めつつ、活動内容を理解しながら「クラブの強み」を伸ばしていくことで役割を全うしたいと考えております。
　仙台奥羽ロータリークラブの活動を継続し発展させていくことが社会貢献になると確信しています。
何卒ご指導よろしくお願い申し上げます。

【幹事プロフィール】
・経歴及び職歴
1986 年 岩手県立第四高等学校 卒業
1991 年　東北学院大学経済学部商学科 卒業
1991 年 大正製薬株式会社 入社
2025 年 1 月 仙台奥羽ロータリークラブ入会

・ロータリー歴
2025 年 1 月 仙台奥羽ロータリークラブ入会　奉仕プロジェクト委員会

6-1　下記一般会計予算案は 2025 年 6 月 16 日総会にて承認されました。

仙台奥羽ロータリークラブ　第５期　一般会計　年間予算（案）

【期間：2025年7月~2026年6月】

一般会計収入

	名　目	備考	単価	数	金額(円)	
会費	正会員（法人含）		100,000	22	2,200,000	
	正会員（G）		60,000	2	120,000	
	新会員	後期分計上	50,000	2	100,000	
	ビジター			0	0	
	賛助会員(団体)		10,000	6	60,000	
	新会員		5,000	0	0	
	賛助会員(個人)		6,000	36	216,000	
	新会員		6,000	6	36,000	
助成金			40,000	1	40,000	
その他収入						
寄付金	**※目標**					
		収入合計			2,772,000	･･･①

一般会計支出

	名　目	内訳	R	単　価（$:円）	数	金額(円)	
RI関連への拠出	RI 分担金（年）	35$×2回=70ドル×人数×R円(為替)	145	$70	25	253,750	
	R財団_基金（年）	3000円×人数_前期、後期		¥6,000	25	150,000	
	地区分担金前期・後期（@17000円×２）			¥34,000	25	850,000	
	米山記念奨学会前期・後期（寄付）			¥2,000	25	50,000	
				小計		1,303,750	･･･②

	名　目	内訳	単　価（$:円）	数	金額(円)	
委員会・例会活動費	URUSHIプロジェクト	直接経費			**170,000**	
		借地料他　予備費			**230,000**	
	会員増強委員会	必要時は補正にて支出			**0**	
	RC財団委員会	予算枠			**0**	
	クラブ管理運営委員会	必要時は補正にて支出			**0**	
	公共イメージ委員会	Web管理費・新パンフ他			**500,000**	
	奉仕プロジェクト委員会	予算枠+補正にて支出			**85,000**	
			小計		**985,000**	･･･③

	名　目	内訳	単　価（$:円）	数	金額(円)	
役員運営費	会合参加費等	上限予算枠として			**200,000**	
	旅費交通費					
	寄付金等	予算枠として	5,000	25	125,000	
	その他雑費	上記以外			0	
					325,000	･･･④

	名　目	内訳	単　価（$:円）	数	金額(円)	
事務局運営費	備品費	封筒等、名簿、会員章、名刺、事務用品等			60,000	
	通信費	切手・郵送費			50,000	
	支払手数料	振込手数料			20,000	
	慶弔費・交際費	会員への慶弔見舞等			0	
	その他雑費	上記以外			10,000	
					140,000	･･･⑤

一般会計支出合計	**2,753,750**	･･･⑥=②+③+④+⑤
特別会計支出　（基金積立）　第4期分	0	･･･⑦
一般会計支出及び特別会計支出総計	***2,753,750***	･･･⑧=⑥+⑦
単年度収支（見込）	**18,250**	･･･①-⑧

	（見込み）			
前年度繰越剰余金	*1,500,000*	次年度繰越	***1,518,250***	･･･⑥=①-⑤
オ基金繰越(予測)	*490,000*			
会計・特会計合計	1,990,000			

6-2　下記特別会計予算案は 2025 年 6 月 16 日総会にて承認されました。

仙台奥羽ロータリークラブ　第 5 期　特別会計 年間予算（案）

【期間：2025年7月~2026年6月】

特別会計収入①

	名　目	備考	単価	数	金額(円)
基金	スサノオ基金(第3期繰越)		396,000	1	396,000
基金	スサノオ基金(第4期未収計)		*94,000*	**1**	94,000
基金	スサノオ基金(第5期)		0		0
					0
					490,000

累積残高	490,000

…①

特別会計支出

	名　目	内訳	単　価（$:円）	数	金額(円)
スサノオ基金					
			小計		**0**

…②

基金②	**スサノオ基金繰越額**	**繰越額**	*0*
		今期繰入	0
		今期支出計	0
		次年度繰越	0

…⑤

特別会計次年度繰越合計	0

…⑥=④+⑤

7　仙台奥羽ロータリークラブ３か年戦略計画（2025～2028 年）

【ビジョン】

人と自然が共に生きる「共生社会」を地域から創造する

【ミッション】

私たちは、縄文の精神を現代に蘇らせ、未来に誇れる日本の文化・精神・自然観を次世代へ継承します。地域に根ざした三本の柱「URUSHI」「Camino de Banzan」「JOMON PROJECT」を通じて、心の支柱と暮らしの価値観を見直し、人と人、人と自然との調和を育てます。

【重点戦略】

1. URUSHI PROJECT – 心を守る「漆の森」構想

- 耕作放棄地を漆畑に転換
- 国産漆の供給体制の構築
- 漆器の普及による脱プラスチック推進
- 寺社仏閣の修復・保存支援と信仰文化の再認識

2. Camino de Banzan – 魂をつなぐ「巡礼路」構想

- 蕃山～立石寺ルートを「祈りの道」として整備
- 市民墓地（霊廟）を沿道に設置し、先祖を偲ぶ文化の再生
- 宗教の商業化から脱却し、心からの祈りを地域に

3. JOMON PROJECT – 誇りを育む「学びと冒険」構想

- 子供会進化版としての縄文型教育活動（キャンプ・講演・体験学習）
- 歴史・自然・言霊の尊重を通じた自立心の育成
- 地域の大人と子どもが共に学び合う場づくり

【数値目標】

項目	現状（2025）	3 年後目標（2028）
賛助会員数（年会費 6,000 円）	40 名	100 名
正会員数（年会費 10 万円）	25 名	50 名
URUSHI PROJECT 漆畑面積	未公開	年間 1 反（1000 ㎡）以上拡張
巡礼路整備距離	構想段階	5km 以上の巡礼路を整備
JOMON イベント開催数	年間 1～2 回	年間 6 回（2 か月に 1 回）

【中長期展望】

- 国内外からの視察受け入れによる地域の国際的認知度向上
- 学術機関・NPO・行政との協働による事業基盤の強化
- 「共生曼荼羅モデル」として、全国のクラブへ理念と実践を発信

仙台奥羽ロータリークラブのすべての活動は、「共に生きる」ことを軸に構成されています。

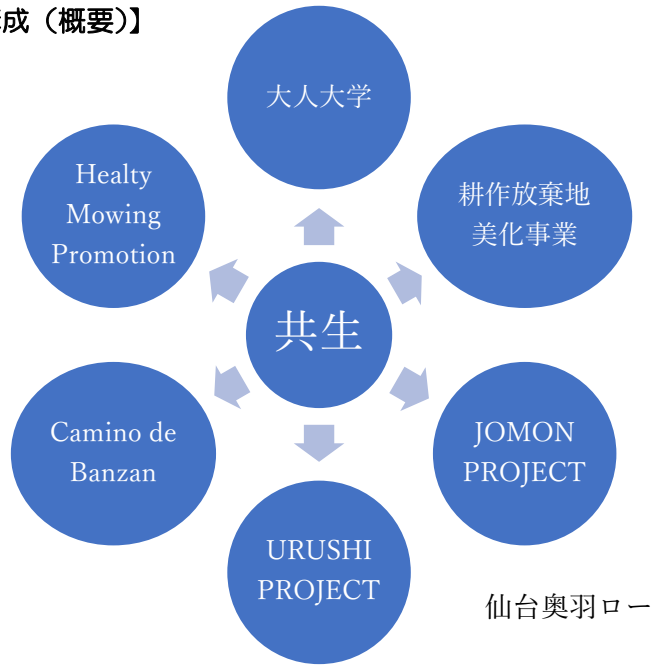
主要事業（三本柱）

1. URUSHI PROJECT は、自然資源（漆）と信仰・文化の再認識を通じて、人間と自然、過去と未来をつなぐ「循環」を担います。
2. Camino de Banzan は、祈りと記憶を継承する場づくりを通じて、生命の時間軸を超えた「共鳴」を育てます。
3. JOMON PROJECT は、子どもと地域の大人をつなぎ、自己肯定と行動力を育てる「学びと育成」の場です。

補助事業（実装型エコシステム）

1. **耕作放棄地美化事業**は、URUSHI PROJECT と連動し、「荒れ地の美化」「資源の再活用」「環境意識の向上」を担います。市民参加による共同行動の第一歩です。
2. **大人大学**は、Camino de Banzan や JOMON PROJECT との交点に位置し、地域の高齢者の知識・経験を社会へ再循環させる「知の再活用」です。健康とお金という現実課題に向き合うことで、自立的な共生を支援します。
3. Healthy Mowing Promotion は、限界集落における森林資源を活かし、都市市民とのつながりを構築する「地域間連携モデル」です。香木のチップからハーブティーを飲むという日常的な体験が、見えない共生の感性を育てます。

【図解構成（概要）】



中心：「共生」は理念だけでなく、現場で実装されるエコロジー・エデュケーション・スピリチュアルの三領域の融合点。

- **外周：実務的接点としての６事業**が、互いに資源・対象者・価値観を行き来しながら共振する構造。

8-1　URUSHI PROJECT：予算額 40 万円　（理事会直轄事業）

当クラブ基幹プロジェクトであるURUSHI PROJECT では、今年度、従来の丸森町に加え、他地区での植樹の実現を目指します。丸森町での新規植樹（1 回）に加え、新たな土地での植樹に向けた予算を計上します。

植樹については、主に漆の苗木の購入に予算を充当しますが、可能であれば植樹地の周りに簡易柵を設置するところまでを見込みたいと考えます。一方、前年度まで計上していた草刈りに関する費用は、耕作放棄地美化プロジェクトに組み込むこととし、予算計上は他地区の植樹地整備で想定される２回の草刈りのみを計上いたします。

植樹地の確保や維持・管理には、地域住民の皆様との協力体制の構築が必須となります。会員各位のご協力を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

＜予算内訳＞

１）経費：17　万円

・漆苗購入費（新規植樹用）：10 万円（丸森・他）

・追肥肥料購入費：１万円×２か所分（丸森・他）

・獣類忌避植物苗購入費：５万円（丸森）

２）諸費用：23 万円

・事業規模拡大予備費：13 万円（使用しなければスサノオ基金へ）

・借地関連諸費用：10 万円

8-2　スサノオ基金

・事業規模に応じ、理事会承認の下で基金より支出を行う。

・日本文化の発信を企図した海外留学支援を行う。

９　各委員会事業計画・予算

１）　会員増強委員会：予算額０円（補正対応）

・当クラブの活動に賛同頂き、志を共に活動頂ける会員の増強を図る。
・ガーディアン制度を活用し、正会員 30 名規模のクラブ構成を目標とする。
・女性会員の増強をはかる。
・賛助会員については、60 名規模の構成を目標とする。
・必要に応じ、クラブパンフレットの増刷や目的別パンフレット等の制作を行う。
・公共イメージ委員会と連携し､HP やSNS を活用した積極的なクラブ情報の発信を行い、新規会員の獲得につなげる。

＜予算内訳＞
パンフレットなどの諸費用

２）　ロータリー財団委員会：予算額５万円

・奉仕プロジェクト委員会(各 Team)と連携し、各種奉仕事業の推進と円滑化を図る
・クラブ事業に関する地区補助金申請の検討・実施
・事業予算の検証・監督
・事業目的と会長方針との整合性の検証・監督
・他 RC との友好協定締結関連作業・協定の管理
・災害・紛争被害に見舞われた他 RC への支援の検討

＜予算内訳＞
緊急支援費用

３）　クラブ管理運営委員会：予算額０円（補正対応）

・事務局と連携のもと例会・臨時例会・総会の円滑な運営
・会員親睦を深める様々な企画を提案してゆく
・卓話（講演）・審議テーマの手配と事前案内
・例会議事録、月報などクラブ公式文書の作成
・臨時例会の企画・実施
これまで通り毎月第一日曜日は講演を主体とした臨時例会を企画開催する。
また、第５火曜日は親睦を目的とした移動例会を企画開催する。
・趣味等を通して、会員間の共感を育むことを目的に、クラブ内サークルを形成し、その活動を支援する。

＜予算内訳＞
　講師謝礼

４）　公共イメージ委員会：予算額 50 万円
「顔の見えるクラブ」「顔の見える活動」を引き続き継続して活動します。
具体的事案をわかりやすく HP や SNS で伝える。これにより、各ロータリークラブの連携のきっかけをつくったり、一般の方の興味を喚起し、仲間として入会のきっかけをつくる。進化する仙台奥羽ロータリークラブの姿を見せていきたい。

＜予算内訳＞
・ホームページ　トップページ刷新　20 万円
・ホームページ維持管理　20 万円
　　活動実績を含め、HP 上で効果的に情報発信するための更新費用
・SNS 広告費用　年間　10 万円　イベントの告知に使用する
※チラシは作成せず、必要な人が必要なページをダウンロードしてプリントして使用

５）　奉仕プロジェクト委員会：予算額 8.5 万円（補正対応）
　仙台奥羽ロータリークラブの取り組みである３つの柱（自然環境保護・第一次産業育成・教育）とロータリークラブの活動理念（平和の推進・疾病との闘い・水と衛生・母子の健康・教育の支援・地域経済の発展）の中で、日本や世界の状況を鑑み、必要とされることと私たちができること、したいと思うことを照らし合わせ各種取組みを実行していきたいと思います。

【JOMON Project】予算額 0 万円（補正対応）
●耕作放棄地美化事業（定例基幹事業）
　耕作放棄地の有効活用は、我が国の生産性を向上させるために急務となる課題である。当クラブでは耕作放棄地の有効活用に意欲を示す土地所有者からの依頼に基づき、耕作放棄地の草刈りや整地の手伝いを行っている。一方、Broken Windows Theory に論拠を求めれば、耕作放棄地の存在自体が国力を貶める原因となり得る。この点からも、当クラブでは積極的に耕作放棄地美化に取り組んでいる。
　・土地所有者の依頼により、土地所有者とともに耕作放棄地の整備を行う。
　・旧畑地には漆の植樹を勧め、土地所有者とともに維持管理を行う。
　・旧水田地には薬用植物などの栽培を勧め、販路確保のお手伝いを行う。
●The 野営：野外でのキャンプ・調理・サバイバルなどの探求・体験・普及を行う。
●JOMON ライブラリー：地域の子どもたちの健全な成長に積極的にかかわる子供会進化版の縄文型教育活動（縄文文化を伝える書籍の寄贈、講演、キャンプ、体験学習など）を行

う。

＜予算内訳＞
　草刈り機レンタル費用等

【Global Climate Pledge】（Green Team）
　当クラブは 2021 年７月の設立当初より、米国 Newport Beach ロータリークラブが中心となって設立した世界的気候変動対策を実践する環境保護団体と以下の協定（Global Climate Pledge）を締結しております。協定内容に従って Green Team が活動主体を担ってゆきます。当クラブの多くの事業内容は Global Climate Pledge の精神を反映したものです。

Community

- Share this Pledge and get at least one NEW org/group to sign
- Join/Support/Collaborate with a local climate organization (s)
- Support and Advocate for positive climate initiatives
- Provide information to the community regarding climate change
- Partner/support/ collaborate with local sustainable businesses
- As often as possible , be positive and inspirational in your message to others
- Share our existing Sustainability Plan with the public

Team

- Encourage your team to sign the individual global climate pledge
- Establish a Green Team
- Inspire your team to VOTE regularly
- Create a sustainability plan
- Have a fun informational session related to climate for your team
- Include climate statistics in newsletter

Energy

- Perform an energy audit
- Turn down heating and/or turn up air conditioning thermostats to reduce usage
- Utilize fans to cool air

- Utilize Natural light to reduce lighting usage
- Install light sensors or Turn off lights when not in use
- Reduce Vampire energy by unplugging electronics when not in use
- Purchase only energy efficient appliances/electronics
- Install Wind or Solar energy

Waste

- Start a recycling program
- Provide re-useable cups as opposed to disposable
- Start composting food waste
- Commit to go Zero Waste
- Commit to reduce plastic

Transportation

- Provide incentives for team to ride bicycle or walk to work/org
- Set up Ride-Share program
- Allow team to Telecommute at least once a week
- Provide incentives for team to use public transportation
- Utilize more online meetings vs travel/in person meetings
- Maintain Vehicles properly
- Go Electric or Hybrid on any new purchase

【Camino de Banzan】（Green Team）予算額０万円（補正対応）
Camino はスペイン語で「巡礼路」の意味です。仙台西地区に広がる蕃山山稜を巡礼路に見立て、山稜の縦走登山を行います。蕃山には弘法大師が霊場を拓こうと企図したものの、天狗に邪魔をされたため開闢を断念したという逸話が残っています。

１）　仙台アルプスと呼ばれている、自然豊かな蕃山並びにその周辺丘陵をハイクしながら、直径２０ｋｍとも言われている、白沢カルデラの内側の蕃山登山路を、巡礼路を目標にしてまいります。

２）　また、私たちは、蕃山から山形県山寺の立石寺を結ぶ「巡礼路」を開拓整備して「二口街道」の再現し、人々の往来を増やすことで、仙山エリアの活性化を目指しています。

ひたすら歩くことに集中し、心に感じたことと素直に向き合う時間は、「禅」に通じるものがあると思われます。踏み出す足の一歩一歩に意識を集中し、呼吸を意識し、風を感じ、山野の美しい花を愛で、虫や小動物の声、せせらぎの音を聴き、大地のにおいをかぎ、細やかな自然の営みにふれ、自分の命の尊さに再感動する時間、そのようなひと時を私たちは提供したいと思っています。（この活動については、当クラブ会員のみならず、これまで同様市民にも広く参加を促します。この活動を通して当クラブの活動を広く市民に告知できたらと考えております。）

● インパクトハイク：健康増進を目的とした登山で、参加者の健康状態、経験を考慮して蕃山山稜を散策します。以下の６ルートが標準ルートとなります。

1. 白滝不動尊→西風蕃山→開山堂
2. 蛇台蕃山→西風蕃山→開山堂
3. 白滝不動尊→西風蕃山→南風蕃山→萱ヶ崎山
4. 蛇台蕃山→西風蕃山→開山堂→南風蕃山→萱ヶ崎山
5. 白滝不動尊→不屈山
6. サイカチ沼周遊

●メンタルヘルスインパクトハイク：引きこもりがちなお子様や落ち込みがちな方々と蕃山開山堂を目指すハイキングです。医師が同伴します。

●チャリティーハイク（10 月）：ポリオ根絶を目的とした蕃山山稜の散策で、参加者から参加費（一人あたり 1000 円）をいただき、全額をロータリー財団のポリオ基金に寄付させていただきます。

●エクスプローラー：蕃山～秋保～秋保大滝～二口峠～山寺（立石寺）のルート開拓・整備を目的とした調査活動です。

＜予算内訳＞

登山道ロープ舗装・修繕費用

【Healthy Mowing Promotion （HEAMOP）】（Gold Team）予算額0万円（補正対応）

当クラブより秋保野尻地区町内会当該町内会にガーデンシュレッダーを寄贈（2024 年９月）しました。住民所有地より発生する廃木材を利用したウッドチップ生産を促す。生産物（ウッドチップ）を広く市民に提供しガーデニングに役立てることで、腰に負担のかかる草むしりの軽減を促す。ウッドチップ生産を地域活性化の産業へ成長させ地域の活性化な

らびに SDGs 活動の一助としていくという目的で開始した事業でしたが、地区内では香木チップをハーブティーに活用することを試みております。産業育成の観点からは、様々な手続きが必要となるため、多面的かつ持続的に支援してまいります。

＜予算内訳＞
　諸費用

【大人大学】（Blue Team・White Team）予算額 0 万円（補正対応）
　健康寿命を伸長し、全ての人がいつまでも活き活きと活躍できる社会を実現させるために、肉体的及び精勤的健康に関する啓蒙活動を行っていく。
　コンセプトは「新人類進化計画」。
　日本の高齢者のイメージを一新する世の中を創造したい。イキイキと元気に生き続け、介護は必要なく、社会にいくらかのアウトプット（仕事やボランティアを通じて社愛貢献）ができる人々となっている（新人類）。人生 100 年時代。50 歳以降の人生を進化させるためのきっかけづくりが「大人大学」。
　テーマは健康、お金、生きがい。
下記のキーワードを包括したオンラインセミナー他、取り組んでいく。

【キーワード】
●常識にとらわれない
●専門の枠を超えてつながる、創る
●共感者をアメーバー的に増やす
●可能性を信じる
●チャレンジして改善する
〈予算内訳〉
SNS 広告運用
講師謝礼
予備費

【大人大学　運用規則の制定】
-1．目的
40 歳、50 歳以降の中高齢期、幸せで元気に人生を過ごしてもらうヒントになる大人大学とする。健康、お金、生きがいの 3 点についてのセミナーやイベント等の実施をする。
多くの参加者に仙台奥羽ロータリークラブのファンになってもらい、会員を増やしていくことも含む。

-2. 運用段取り
・すべてのセミナーや活動は大人大学事前に例会にて報告する
・すべてのセミナーの告知は大人大学事務局で対応
・すべてのセミナーの当日を含む運用は大人大学事務局で対応
・すべてセミナー報告は大人大学事務局が例会にて報告
・運用上の問題が生じた場合は都度ルールを更新する

-3. 禁止事項
・特定の商品やサービスの販売目的
・宗教勧誘
・政治色の強い内容
・社会的に問題があると考えられるもの
・著作権を有する物の無断使用
・表現言葉が乱暴であったり、他社を傷つける可能性があるもの
※上記については、クラブ定款と四つのテストに照合し大人大学事務局にて判断する

国際ロータリー4 つのテスト
・ 真実かどうか
・ みんなに公平か
・ 好意と友情を深めるか
・ みんなのためになるかどうか

【秋保かがやき支援学校支援事業】（Blue Team）予算額 8.5 万円
地区補助金を活用し、不足している備品を購入し、障害児教育の円滑化を支援する。

＜予算内訳＞
備品購入費用　8.5 万円（約 17 万円の備品購入）
*地区補助金　8.5 万円活用承認済

10　会員名簿

1）　チャーター会員（23 名）

雨宮悠天・千葉茂男・舩渡忠男・林宙紀・堀裕之・伊藤将・色川冬馬・岩渕雄司・久世尚志・熊谷修・黒澤大輔・香野朋広・三井範寿・宗像靖彦・成瀬麻紀・沼田孝彦・櫻田敦彦・新森一弘・菅原宣和・鈴木壘・田仲智子・上原研一・米山卓哉

2）　職業分類（24 名：女性４名・男性 20 名）

１－１　医術：宗像靖彦（内科）・黒澤大輔（整形外科）・佐藤博昭（歯科）
１－２　病院及び医療施設：堀裕之（老人保健）・高橋広（訪問看護）
１－３　医療従事者：宗像一子（保健師・看護師）
１－４　医薬：鈴木政憲（医薬品）・宮伸和（医薬品）
１－６　物理療法：久世尚志（物療）・櫻本和夫（柔道整復師）
２－１　印刷及び出版：奥村滋子
２―４　宣伝：佐藤良幸
６－１　日用品雑貨：岩渕雄司
１２－２　保険：櫻田敦彦
１３－１　建設業：鈴木壘
１４―１　情報、調査サービス：田村祐子
１４－３　ビジネスサービス：林宙紀
１４－４　コンサルタント、デザイナー：香野朋広
１４―８　不動産業：鈴木利彦
１６－１　スポーツ：田仲智子（フィットネス）・志村雄彦（プロバスケット）
１７－２　被服工業：熊谷修
１８－５　リサイクル：菅原宣和
２１－１　総合商業：上原研一

3）　会員の移動

・退会（11 名）

三井範寿（2021 年８月 24 日）　千葉茂男（2021 年９月 21 日）
雨宮悠天（2021 年 12 月７日）　舩渡忠男（2021 年 12 月７日）
色川冬馬（2022 年２月１日）　新森一弘（2024 年６月 30 日）
岩本日出貴（2024 年６月 30 日：補欠会員への区分変更）

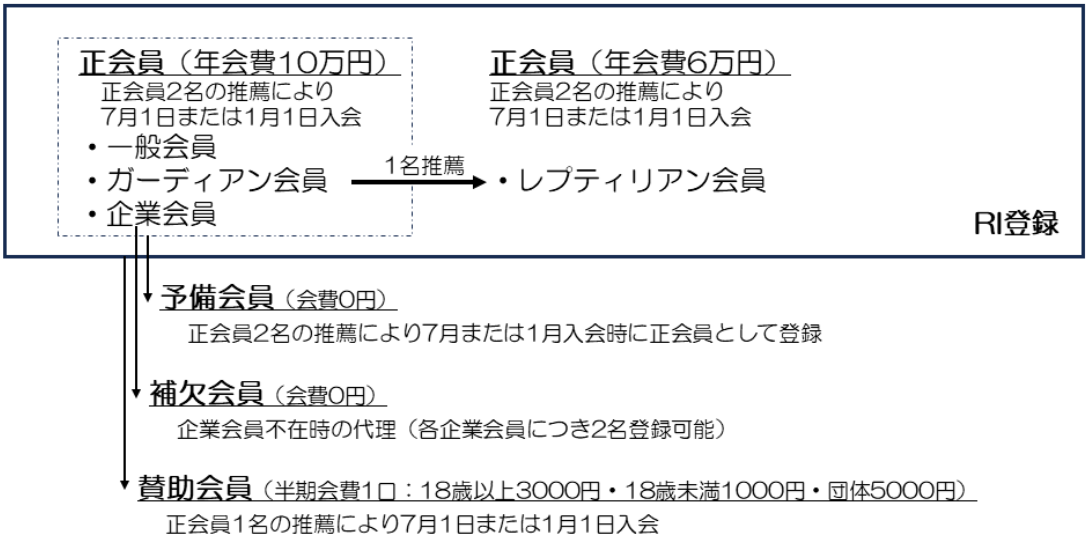
米山卓哉（2024 年６月 30 日：補欠会員への区分変更）
伊藤将（2024 年 10 月末日）　白坂知啓（2024 年 12 月末日）
成瀬麻紀（2025 年６月末日）

・終結（２名）
沼田孝彦（2023 年６月 27 日）　桶谷裕人（2024 年４月 16 日）

・正会員登録（14 名）
佐藤良幸（2021 年 12 月８日）
田村祐子（2021 年 12 月 17 日）
桶谷裕人（2021 年 12 月 21 日）
岩本日出貴（2021 年 12 月 21 日）
志村雄彦（2021 年 12 月 24 日）
鈴木政憲（2023 年７月１日）
佐藤博昭（2023 年７月１日）
櫻本和夫（2024 年１月１日）
白坂知啓（2024 年１月１日）
奥村滋子（2024 年７月１日）
宗像一子（2024 年７月１日）
鈴木利彦（2024 年７月１日：補欠会員からの区分変更）
高橋広（2024 年７月１日：補欠会員からの区分変更）
宮伸和（2025 年１月１日）

４）　賛助会員（2025 年７月１日）
・個人会員　31 名
１口　30 名
３口　１名
・団体会員　８組
１口　７組
10 口　１組

５）　会員の構成


正会員（年会費10万円）
正会員2名の推薦により
7月1日または1月1日入会
・一般会員
・ガーディアン会員
・企業会員
1名推薦
正会員（年会費6万円）
正会員2名の推薦により
7月1日または1月1日入会
・レプティリアン会員
RI登録
予備会員（会費0円）
正会員2名の推薦により7月または1月入会時に正会員として登録
補欠会員（会費0円）
企業会員不在時の代理（各企業会員につき2名登録可能）
賛助会員（半期会費1口：18歳以上3000円・18歳未満1000円・団体5000円）
正会員1名の推薦により7月1日または1月1日入会

11　　仙台奥羽ロータリークラブ諸細則（令和３年７月 13 日）

改定　令和７年６月３日

【正会員】

1）　入会にあたっては、当クラブ正会員２名以上の推薦を必要とする。

2）　新入会手続きは７月または１月とする。

3）　正会員が当クラブ外事業にロータリアンとして招聘される場合、当該会員は事務局への事前報告をしなければならない。

【正会員によるガーディアン権限及び制度】（ガーディアン：後見人）

1）　年会費 10 万円を支払う正会員は自身が責任を持って支援・指導することを保証することができる１名に対してガーディアンとしてクラブ入会を推薦することができる。

2）　ガーディアンに推薦される会員は正会員として登録される。

3）　ガーディアンに推薦される会員の入会にあたっては、ガーディアンの他にもう１名の年会費 10 万円を支払う正会員の推薦が必要である。

4）　ガーディアンに推薦される会員はガーディアンの承認の下でのみ正会員資格を保有することができる。

5）　ガーディアンに推薦される会員の年会費は６万円とする。

6）　ガーディアンに推薦される会員はガーディアンの承認において、ガーディアンを排除することができる。

7）　ガーディアンを排除した会員は、年会費 10 万円を支払う正会員となる。

【予備会員】

1）　正会員登録以前の入会希望者を予備会員とする。

2）　予備会員期間中は会費納入免除とする。

【賛助会員】

1）　当クラブの活動趣旨に賛同し、活動への参加を希望する市民、団体を賛助会員とする。

2）　賛助会員は当クラブ正会員１名以上の推薦を必要とする。

3）　賛助会員は当クラブ臨時例会、奉仕プロジェクト委員会会議、奉仕プロジェクト委員会内 Team への参加を可能とする。

4）　賛助会員は会長の指定する例会に参加をすることができる。

5）　賛助会員は当クラブ独自の会員であり、賛助会員個人情報は当クラブ理事会において厳重に秘匿管理する。

【例会】

1）　原則として毎週火曜日 19 時よりハイブリッド開催とする。

2）　第５火曜日は休会とする。

3）　第１火曜日または第２火曜日例会をクラブ協議会とする。

4）　正会員はクラブ事業に関する意見及び提案をクラブフォーラムにおいて表明し、議案としてクラブ協議会に諮ることができる。議案は、クラブ管理運営委員会に提出し、クラブ協議会開催前日までに会員に公知することとする。

5）　原則として定期例会後に理事会を開催する。

6）　例会のビジター・メークアップ規定

・参加費は徴収しない

・会場参加またはリモート参加が可能である

・参加希望者は例会開催 48 時間前までにクラブ事務局に電子メールまたは FAX を送付することとする。

7）　理事会の定める臨時例会及び会議、奉仕活動への参加をもってクラブ内メークアップと認める。但し活動に際してはロータリー記章を装着することとする。（2から7に移動）

8）　例会のメークアップについては 1 単位を 1 例会分とし、以下をクラブ内メークアップ対象とする。

・委員会参加　１単位

・クラブ事業参加　１単位（午前と午後にわたる事業は２単位）

・調査活動及び報告　２単位

・臨時例会参加　１単位

【臨時例会】

1）　正会員を招集対象とする例会以外の会合を、臨時例会と称する。

2）　移動例会は臨時例会として扱う。

3）　毎月第一日曜日８時より、医療法人総志会が主催する「MR オープンカフェ第一部」との共催で講演を主とする臨時例会を開催する。

4）　正会員の臨時例会への参加はクラブ内メークアップ１単位と認定する。

5）　例会のファシリテーターにあたる会員が担当例会に参加できない場合、臨時例会の開催を理事会に対して要求することができる。

【役員】

1）　副幹事も役員に含める。

2）　当クラブでは会場監督を置かない。

３）　役員はクラブ運営に必要な調査等を会員に依頼することができる。
・依頼内容・調査結果は理事会に報告するものとする。
・調査等を担当した会員は調査に要した時間を、クラブ内メークアップに充てることができる。

【副幹事】
１）　各委員会委員長は副幹事を兼任する。
２）　理事会は副幹事から１名の筆頭副幹事を指名しなければならない。

【委員会】
１）　委員会会議開催は委員長の権限とし、会議参加をもってクラブ内メークアップに充てることができる。会議議事録を作成し、理事会に提出することとする。
２）　会長は、委員会会議開催を委員長に要求することができる。
３）　奉仕プロジェクト委員会に以下の４部門を設置する
・White Team：医療衛生関連奉仕を目的とした活動を行う。
・Green Team：自然環境保護及び Global Climate Pledge 関連奉仕を目的とした活動を行う。
・Gold Team：第一次産業育成関連奉仕を目的とした活動を行う。
・Blue Team：教育関連奉仕を目的とした活動を行う。
４）　奉仕プロジェクト委員会内４部門は、それぞれ正会員のチームリーダーが統括する。
５）　ロータリー財団委員会はロータリー米山記念奨学会関連事業を担当する。
６）　クラブ管理運営委員会は褒賞に関する実務を担当する。

【役職者権限の代行】
理事等の役職者が役割遂行困難となった場合、権限代行者を以下の通り指定する。
１）　会長権限は副会長が代行する。
２）　副会長権限は幹事が代行する。
３）　幹事権限は筆頭副幹事が代行する。
４）　筆頭副幹事権限は理事会で定める副幹事が代行する。
５）　委員会委員長権限及び副幹事権限は副委員長が代行する。
６）　副委員長権限は事務局長が代行する。
７）　会計権限は事務局長が代行する。
８）　事務局長権限は理事会で定める正会員が代行する。

【クラブ事務局】
１）　クラブ事務局はクラブ内総務を担当し、理事会による円滑なクラブ運営を補佐する。

２）　クラブ事務局長（Secretary General）はクラブ事務局業務全般を統括する。
３）　クラブ事務局長は会長により１名指名され、任期は最長で３年とする。
４）　クラブ事務局長は役員・理事を兼任することはできない。

【会費】
１）　正会員の年会費を 10 万円以上とし、10 万円を超える金額をスサノオ基金に組み入れる。
２）　ガーディアンに推薦された正会員の年会費を６万円以上とし、６万円を超える金額をスサノオ基金に組み入れる。
３）　会費は一括、または半期ごとの期日までに半額を支払うものとする。
４）　会費より半期あたり 1000 円を米山記念奨学事業協力費として充当する。
５）　会費より半期あたり 3000 円をロータリー財団寄付金として充当する。
６）　賛助会員半期年会費を以下に規定し、半期ごとの期日までに支払うものとする。
　　18 歳未満　一口　1000 円
　　18 歳以上　一口　3000 円
　　団体　　一口　5000 円
７）　年度途中にやむを得ず退会する場合、退会者のクラブ負債金は半期あたり３万円とする。

【褒賞】
１）　クラブの発展に著しい貢献をした会員は会長より褒賞を受けることができる。
２）　褒賞を受ける会員は例会参加率が８割を超える必要がある。
３）　褒賞を受ける会員は理事会において決定される。
４）　褒賞を受ける会員名は事業年度末に開催される総会にて公知する。

【寄付】
１）　当クラブは善意の寄付を受けることができる。
２）　当クラブでは海外での災害や国際的大規模災害等に際して、人道支援を行う団体への支援を行う。支援財源は年度末繰越金とし、支援方法等については理事会で決定する。

【基金】
１）　基金の名称を「スサノオ基金」とする。
２）　予算規模の大きい事業を計画する場合、理事会の承認により年度予算から基金を積み立てることができる。
３）　基金の趣旨への賛同を条件に善意の寄付を基金に充当することができる。

４）　基金の執行にあたっては、理事会承認が必要である。

令和３年７月13日　承認
令和３年７月20日　改定
令和３年８月３日　　改定
令和３年８月10日　改定
令和３年８月17日　改定
令和３年８月31日　改定
令和３年９月14日　改定
令和３年10月26日　改定
令和３年12月28日　改定
令和４年５月10日　改定
令和４年６月７日　改定
令和４年８月９日　改定
令和４年９月６日　改定
令和５年４月18日　改定
令和５年５月９日　改定
令和５年９月12日　改定
令和５年10月10日　改定
令和６年３月19日　改定
令和６年４月16日　改定
令和６年４月23日　改定
令和６年５月７日　改定
令和６年５月21日　改定
令和７年３月11日　改定
令和７年６月３日　改定

12　仙台奥羽ロータリークラブ法人会員細則（2021 年７月１日）

企業の社会的責任に対する重要性が高まる中、当クラブは法人会員のオプションを創設し、仕組みの整ったロータリーを通じて、法人は地域社会に還元するためのプロジェクトに参加することができる。

仙台奥羽ロータリークラブは、企業、専門職事務所、行政機関、教育機関、のための法人会員プログラムを設けている。

1. 資格要件。
   いかなる企業の従業員も仙台奥羽ロータリークラブの法人会員となる資格を有する。
2. 会員。
   クラブ理事会の承認を得た上で、企業は 仙台奥羽ロータリークラブの会員となる従業員を、最大３名まで、代表会員または補欠会員として指定できる。
3. 出席。
   クラブへの出席と参加の要件は、いずれの会員によっても満たすことができる。
   全会員（代表および補欠）は、当クラブまたは当クラブが決定した他のロータリークラブの例会に出席する資格を有する。
4. 会費・分担金。法人の会費は正会員と同額とする。
   但し
   ①　補欠会員を登録する場合代表者の代理を主とする場合の補欠登録は会費は不要
   ②　代表者と同様に会員活動を行う場合は、正会員と同額とする。
   但し、ロータリー会合に複数の法人会員が出席する場合、追加会員の食事代は別途支払うことが義務づけられる。
5. RI 登録。
   代表会員のみを、クラブの正式な会員として登録する
6. 投票と定足数。
   会合全般とクラブの議題において、法人会員は代表のみ投票権を有する。
7. 役職の就任。
   法人会員は代表のみ役職に就くことができる。
8. 会員重複の禁止
   個人正会員と法人会員の重複はできない。